

# しずく

No.  
**119**  
2021.10

●編集●  
広報広聴常任委員会  
●発行●  
岩手県雫石町議会

## 議会だよ

●今号の主な内容

新体制で出発…2

9月定例会…6

町政を問う

一般質問 11議員が質問…12

常任委員会報告…20

ふるさとへの便り(85)…23

●今号の表紙／なかよしシリーズ14

「わたしたち5きょうだい」…24



# 新体制で出発

## 議長・副議長 新たに選出

9月30日に開催された第7回臨時会において、正副議長の辞職に伴い、議長に加藤眞純議員を、副議長に上野三四二議員を選出し、新たな体制で始動しました。



加藤眞純議長



上野三四二副議長

### 議長就任あいさつ

このたび議長に選出され、身に余る光栄に思っております。

就任のあいさつが、おわびから始めなければならぬことに誠に申し訳なく悔しい思いであります。

皆さまご承知のとおり、町民の皆さまがコロナ禍で、経済、生活面で心を砕いているさなか、7人の議員の不祥事につきましては、全町民に驚きと失望の念を抱かせるとともに、議会の品位を大きく傷つけ、信用を失墜させてしまったことに遺憾であり、慙愧に堪えません。(不祥事の情報は次のページをご参照ください。)

さて、就任のあいさつと抱負を述べさせて頂きます。

私の信条は、是々非々であり、町当局の追認機関ではないということが基本であります。そして、万一、町の政策が間違った方向を向いていたとしても、議会が正常に監視機能を果たしていれば方向修正できます。

もちろん、賛否は各議員の判断で行うのは基本中の基本であります。そのためには、その事業が町民にとって良いことなのか必要なことなのかを基本に、議員間でとことん議論していく必要があります。

それが町民の意思を町政に反映させるための機関としての活動につながるものと考えております。

大手の民間企業で国内、海外を歩いた経験を活かし、グローバルな視野と技術屋の視点から、常に古い殻を破り、柔軟で新しい発想をしていくことを心がけております。

特に重点といたしたいことは、次のとおりであります。

1、職務の遂行に当たっては、不偏不党、厳正公平を貫き、中立公平性に疑念を抱かせることのない議会運営を行い、少数意見であっても排除せず公平に扱い、おかしいことをおかしいと言える環境とし、公開の場で議員間討議を

してまいります。

2、本来倫理条例など制定しなくともよい議会であるべきですが、今後のこともあり「議会議員政治倫理条例」を制定するとともに、議員のモラルアップを図ってまいります。

3、デジタル化推進のため、タブレットを導入し、議会での議論を効率よく、できるだけ資料や画面を用い、分かり易くすることに取組みます。

4、開かれた議会とするべく、議会だよりを含め、情報公開の充実、改革を図ってまいります。

5、変化を先取りできる議員でなければならぬと考えるもので、もつともつと学習して、レベルアップを図り、各議員の得意分野が発揮できるような環境づくりに努めます。

今回の不祥事を真剣に受け止め、人間としてのモラルを念頭において、議会人としての品位、品格を守り、これまで以上に襟を正し、町民に疑念を抱かせることの無いように、本来果たすべき使命をしっかりと再認識し、議会一丸となって住民福祉の向上と明るく豊かなまちづくりのために努力し、信頼回復に努めてまいります。

皆さまのご指導、ご鞭撻を心からお願い申し上げます。

# 第7回臨時会

## 新委員会メンバーで活動スタート

新たに、3つの常任委員会と議会運営委員会の委員を選任し、正副委員長を選出しました。

正副議長辞職、前田議員の辞職の審議を行い、許可されました。新型コロナウイルス感染症対策をはじめ、町民福祉の向上や、魅力ある地域づくりなど、町民一丸となって取り組んでいる中、3月17日の会食参加をめぐり、町民の皆さまの信頼を損なったことは誠に遺憾です。ここに第7回臨時会議決結果とともに、不祥事の経過を含めて謝罪文を掲載いたします。

町民の皆様へ

栗石町議会からの謝罪について

令和3年4月22日付で、3月17日に議員5名がコロナ禍における飲酒を伴う会食をして新聞報道された件に関し、前田隆雄前議長から、「議員に事情聴取したところ、会食があった事実を確認した。」「当職から会食を行った議員に対して厳重に注意し、議員としての自覚と倫理を重んじて行動するよう強く要請した。」との謝罪文書を発出しておりました。

ところが、9月16日の議員全員協議会において前議長が、同会食には自身も参加し他の議員6名等、計13名での会食であったことを明らかにしたことから、先の謝罪文書は自身の参加はなかったような表現であり、極めて不適切なものであることが判明しました。

このように自身の会食参加を隠蔽して嘘の謝罪文書を発出し、議会を混乱させ町民に大変な迷惑をかけたとして、前議長は9月21日に議長職の辞任願を提出し、さらに9月30日の臨時会においては、一連の責任を取り議員辞職をしました。

坂下栄一副議長は、会食には参加していませんでしたが、議長を十分に補佐しなかったとの指摘を受けて、責任を取り副議長を辞任しております。

よって、会食があった3月17日から6カ月を経て、真実が明らかとなりましたが、この間真実を明かさなかった岩持清美議員、横手寿明議員、堂前義信議員、幅秀哉議員、坂井尚樹議員、金子一男議員については、不適切な対応だったことを認め陳謝し、自ら始末書を議長に提出したほか、役職に就いていた議員は責任を取り常任委員会の委員長、副委員長を辞任しております。

当議会としては町民から、「議長も会食に参加していたのではないか。」との疑念の声がかれたことから真実を明らかにすべく鋭意取り組んでまいりましたが、確証を得ることができず長期化してしまいました。深く反省するとともに、町民の皆さまの信頼を裏切ってしまいましたことを謝罪いたします。

今後は、議会議員政治倫理条例を制定するとともに、議員研修を行うなどモラルアップを図りながら、町民の皆さまに疑念を抱かせることのない議会とするよう一丸となって再出発し、より良いまちづくりを目指し、適正な行政運営を確保するための監視と評価、政策提言等に全力で取り組み、議会の信頼回復に努めてまいります。

令和3年10月28日

栗石町議会議長 加藤 眞純

### 令和3年第7回栗石町議会臨時会 | 議決結果等一覧 会期：9月30日(木)

件名	金子一男	坂井尚樹	徳田幸男	岡本忠美	古館謙護	幅秀哉	堂前義信	横手寿明	岩持清美	加藤眞純	杉澤敏明	西田征洋	大村昭東	上野三四二	坂下栄一	前田隆雄	議決結果
議長の辞職の件	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	／	—	許可
副議長の辞職の件	○	○	○	○	○	○	○	○	●	／	○	○	○	○	—	○	許可
議員辞職の件	●	●	●	●	○	○	○	○	●	／	○	○	○	○	○	—	許可

○…賛成 ●…反対 欠…欠席 —…退席 /…採決に加わらない

## 特集

# 教えて、 議会のこと!

No.1

議会の常任委員会ってなに?



## 総務産業常任委員会

**委員長** 大村 昭東

**副委員長** 岡本 忠美

**委員** 坂下 栄一、西田 征洋、岩持 清美、  
幅 秀哉、金子 一男



### Q & A

**Q** 総務産業常任委員会ってどんなことをするところなの?

**A** 道路・水道・防災など安心安全に住めるまちづくりを目指し、生活に必要なことや農業・商業・観光業など「笑顔で稼ぐまちづくり」を目指し、産業に必要な事柄などの調査・提言などを行っています。

### 共通で行っていること

常任委員会は、本会議で付託（物事の処置などを任せること）された議案・請願などを審査するほか、所管する町政の諸課題について調査を行っています。



## 教育民生常任委員会

**委員長** 堂前 義信

**副委員長** 徳田 幸男

**委員** 上野 三四二、杉澤 敏明、横手 寿明、  
古舘 謙護、坂井 尚樹



### Q & A

**Q** 教育民生常任委員会ってどんなことをするところなの?

**A** 教育、文化、社会福祉、子育て、介護、健康、保健衛生、医療、地域づくり等に関することについて、より良い暮らしができるよう調査・提言などを行っています。



## Q & A

**Q** 広報広聴常任委員会ってどんなことをするところなの？

**A** 議会のことを、町民に広くわかりやすくお知らせすることを目的として本紙「しずくいし議会だより」の編集、発行をしています。

「しずくいし議会だより」は広報クリニック（専門家に内容や字句の使い方などを診断してもらおうこと）で研さんするなど、より良い紙面づくりに役立てるため研修や調査・提言などを行っています。

また、町民の声を広く聴く目的で、町民報告会・懇談会を開催し議会活動に活かしています。



## 広報広聴常任委員会

<b>委員長</b>	古舘 謙護
<b>副委員長</b>	坂井 尚樹
<b>委員</b>	横手 寿明、幅 秀哉、岡本 忠美、 徳田 幸男、金子 一男



## 議会運営委員会

<b>委員長</b>	杉澤 敏明
<b>副委員長</b>	西田 征洋
<b>委員</b>	大村 昭東、岩持 清美、堂前 義信、古舘 謙護、徳田 幸男

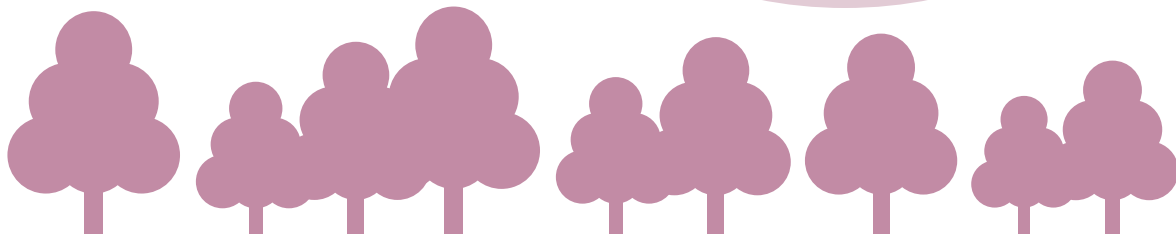


## Q & A

**Q** 議会運営委員会ってどんなことをするところなの？

**A** 議会をスムーズに運営するための話し合いを行う委員会です。

定例会の日程や本会議の進行手順を話し合ったり、議会に関するルール（会議規則、委員会条例等）について審査・調査を行っています。



# 令和2年度 一般会計歳入 歳出決算ほか 9会計を認定

令和3年9月定例会は、9月1日から17日までの17日間の会期で行われました。

本定例会では、報告1件、条例の一部改正及び廃止5件、補正予算6件、認定10件、議員発議1件、その他1件について審議しました。

決算特別委員会（委員長：大村昭東、副委員長：岡本忠美）は、令和2年度一般会計歳入歳出決算のほか9会計について審査し、すべて認定すべきものと決定しました。

一般質問には11人の議員が登壇し、まちづくりや福祉、産業、教育など町の考えをただしました。

## 令和3年度補正予算 （一般会計及び特別会計）

会計名	補正後予算額 (補正予算額)
一般会計(第3号)	105億4,479万3千円 (3億3,201万円)
簡易水道事業 特別会計(第1号)	1,645万5千円 (94万7千円)
介護保険事業勘定 特別会計(第2号)	20億3,810万1千円 (5,684万5千円)
町立雫石診療所 特別会計(第1号)	4億600万6千円 (2,660万7千円)

新型コロナウイルス感染症対応  
地方創生臨時交付金事業  
小中学校ネットワーク環境整備  
ふるさと雫石応援基金積立金などを含む

### 主なもの

○**ほ場整備推進事業費補助金 150万円**

現在進めているほ場整備推進事業を今後さらに促進、拡張するための支援強化として、技術者の人件費を町で2分の1補助するもの。

○**アフターコロナ観光研究調査業務委託料 110万円**

町の今ある観光資源の調査や各種観光事業者へ聞き取り調査し、それらをまとめた調査書を作成する費用。

○**新型コロナウイルス感染症予防接種事業  
個別予防接種委託料 1千823万8千円**

現在実施しているコロナワクチンの町内医療機関での接種委託料に対し、国から接種スピードを上げるため、休日・時間外での接種単価を上乗せする費用。

○**いわて雪まつり実行委員会負担金 1千200万円**

今年度開催される「いわて雪まつり」に対し、実行委員会の各部会並びに総会により決定された、町の負担金。

# 主な質疑

**Q**【大村議員】ほ場整備推進事業費補助金の内容は。

**A**【農林課長】現在、籬野地区の事業立ち上げに向けて栗石町土地改良区と連携し取り組んでいる。今後さらに事業の支援強化として、技術者の人件費を補助するものである。

**Q**【徳田議員】アフターコロナ観光研究調査業務委託料について、自然豊かな本町はアウトドアを資源として活用すれば、交流人口を増やし、経済活性化にもつながると思う。この調査内容は。

**A**【観光商工課長】今ある観光資源の調査と各種観光事業者へのヒアリングをし、調査書の作成を委託するもの。

**Q**【上野議員】新型コロナウイルス感染症の個別予防接種委託料が約1千800万円増となっているが、内容は。

**A**【健康子育て課長】現在、ワクチン接種委託料の単価が2070円であったが、国から接種スピードを上げるよう、休日



順調に進むワクチン接種

接種や時間外接種での単価が上乘せされたので、その上乘せ分である。

## 「二」が変わる

### 栗石町認可地縁団体印鑑条例の一部改正

認可地縁団体が町に対して行う印鑑登録にかかる手続き（登録、廃止、印鑑の亡失）において、申請者個人の印鑑の押印及び印鑑登録証明書の添付を不要とする。

### 栗石町固定資産評価審査委員会条例の一部改正

固定資産税の納税者が、固定資産課税台帳に登録された価格（評価額）に不服がある場合に固定資産評価審査委員会に対して提出する、「固定資産評価審査申出書」及び審査申出人が希望した場合に提出できる「意見の口述書」への押印を不要とする。

### 栗石町復興産業集積区域における固定資産税の課税免除に関する条例の廃止

東日本大震災復興特別区域法の改正により、岩手県産業再生復興推進計画が変更されたことに伴い、この条例を廃止する。

# 討論要旨

コロナ感染症対策、損害額が確定できないまま

## 反対

【西田征洋議員】

一般会計では地方債残高はごく少額減少するが、次年度以降も減少する保証はない。また、現在も続くコロナ感染症対策は損害額の確定もできないまま補助を進めており、本当に的を射た内容になっているか不明である。町有地14ヘクタールの問題についてもこのまま解決に進むのか、疑問である。

ふるさと納税額が過去最高

## 賛成

【岡本忠実議員】

一般会計歳入歳出とも前年を上回っているが、歳入における町債発行額が昨年度より約3億9千万円減少している。また、ふるさと納税が過去最高になるなど自主財源確保に努めた。

歳出についてはコロナ禍による厳しい財政運営の中、地方創生臨時交付金を活用し、コロナ感染症対策の推進はもとより、商工観光業、農林業の支援対策を行い、昇瀬橋の架け替え設

介護保険事業勘定特別会計は法改定のために保険料が上げられ、家族介護の解消になっておらず、改善が必要と考える。



計、防災行政無線整備、小中学校への生徒1人1台学習用端末整備など、大いに評価できる。（他に、加藤眞純議員が賛成討論しました。）



# 令和2年度決算を認定

令和2年度決算特別委員会（大村昭東委員長、岡本忠美副委員長）は令和3年9月13日から3日間で行われ、一般会計他9会計について活発な議論が交わされました。ここでは、栗石町第三次総合計画に基づく施策大綱ごとに各委員から出された重点事業等への主な質疑を取り上げました。

## 学びを通して 生きがいを感じるまち《教育》

**教**【岩持委員】 栗石の教育の底上げのために子育て

寺子屋事業を、どのような考えで進めて行くのか。

**答**【教育長】 この事業を通して、学習意欲や生活意欲をしっかりと持たせることにより、一人ひとりの自分の学習の姿勢につながっていくものと考えています。

**教**【幅委員】 SNSはどんどん進化している。毎年専門家を呼んで先生も生徒も学習し指導する考えは。

**答**【教育長】 毎年講習会を小学校でも中学校でも実施している。特に中学校は講師を呼べない場合には、技術の先生あるいは担任の先生から子どもたち

への指導を毎年繰り返しており、今後も継続して行く。



参加者が多かった子育て寺子屋事業

【徳田委員】 いじめに関する問い合わせがあると思うが、不誠実な姿勢や隠蔽がないようにしっかりとした透明性のあるシステムを講じては。

**答**【教育長】 いじめに関しては、子どもと同時に親と一緒に受けているので、親の気持ちをしつかり聞く体制を作っていく、教育委員会も学校も同等であるという認識を進めていく。

**教**【横手委員】 コロナ禍により、地域の方も学校に行っている様子を見たりできない状況なので、ホームページを充実させては。

**答**【教育長】 インターネットを使い、保護者の方、地域の方々が様々な情報を収集できるので、ホームページを充実させていく。

【岩持委員】 民生委員・児童委員指導監督権限事務処理交付金は役場もしくは、社会福祉協議会でやっているか。

**答**【総合福祉課長】 交付金は町の歳入となる。社会福祉協議会が民生児童委員協議会の運営を担っている民生委員の指導に関しては、社会福祉協議会と一緒に対応している。

**保**【古館委員】 にじいろ保育園を開設したが、現在の待機児童数は。

**答**【子ども子育て支援室長】 令和3年8月1日現在、保育所の待機児童は、4名となっている。

【徳田委員】 県は自殺死亡率が全国ワースト1位、



待機児童解消の一翼を担うにじいろ保育園

※SNS…ソーシャル・ネットワーキングサービス。登録された利用者同士が交流できる、会員制サービス。



町も県内上位にランクされている。コロナ禍で令和元年度と昨年度を比較して、相談件数の増減はどうか。

**答** 【総合福祉課長】心配事相談事業の実績は、令和元年度が41件、令和2年度は61件で、令和2年度は令和元年度よりも相談件数が増えている。

**保** 【西田委員】地域包括ケアシステムの予算が年度によりばらつきがあるがなぜか。

**答** 【総合福祉課長】平成30年から令和2年度までの3年間、国の事業の採択を受け、業務委託をしながら取り組んできた。令和3年度からは保健福祉計画に盛り込んで現在取り組んでいる。

**保** 【加藤委員】町は社会福祉協議会の運営補助者としてどのような改善策を持って指導、助言しようとしているのか。

**答** 【総合福祉課長】6月から私が、社会福祉協議会の理事として加わり、適切な運営となるように管理を進めている。

**保** 【金子委員】結婚サポートセンター負担金利用者がゼロは、周知が足りないのか、原因は何と捉えているか。

**答** 【総合福祉課長】令和3年度においては負担金を

利用しないで、既に1名利用されている。周知についてはホームページ、広報等活用しながら今後も周知を図っていく。

## 産業を通じて豊かさを実感し笑顔で稼ぐまち《産業》

**産** 【坂井委員】令和2年度のイクボス<sup>※</sup>宣言を行った企業は何社か。

**答** 【観光商工課長】宣言企業はなかった。男性の育児参画が重要であることから、町内企業の管理職等に働きかけ宣言していただくよう取り組む。

**産** 【岩持委員】鳥獣被害対策に係る電気柵設置事業補助金の見直しは。

**答** 【農林課長】町内で最大37ha規模の電気柵設置も実施されたことから、事業の仕組みを工夫し来年度の事業計画に反映させたい。

**産** 【横手委員】農業後継者育成について今後町ではどう取り組むのか。

**答** 【農林課長】新規就農者を中心に盛岡農業改良普及センターの



農地再利用が進まない荒廃地

指導員・JA・行政でのチームを組んで指導しているが今後も引き続き支援する。

**産** 【金子委員】未来へつなぐ農地再生応援事業の取り組みは。

**答** 【農林課長】水田耕作条件の改善については、小規模事業と捉えほ場改善に支援する。

**産** 【幅委員】町内に荒廃している水田が多くなっているが専門員での管理が必要でないか。

**答** 【農業委員会事務局長】農業経営者協議会と連携し農地の賃貸に関することや農業公社のコーディネーター等も含め、放棄地を出さないために専門職の指導・管理についても検討する。

**産** 【岡本委員】農業指導センターにプロの農業技術員が必要と思うがどう考えているか。

**答** 【農林課長】農業指導センター体制に農家と信頼できる指導技術員を配置する予定である。

**産** 【古館委員】農業用ため池ハザードマップはどのように周知を図ったか。

**答** 【農林課長】作成にあたり現地調査等を行った。今は、大雨災害のため池の氾濫が予想されるので、事前の対応訓練等で周知を図る。

**産** 【杉澤委員】町営住宅使用料不納欠損の取り組みは。

**答** 【地域整備課長】今後の使用料徴収方法としては、入居者の生活を守りながら支払

い計画を立ててもらい、協議の上で解決を図りたい。

**産** 【古館委員】フラワード事業で町民参加の一斉植栽を取りやめたのはなぜか。

**答** 【地域整備課長】コロナ感染拡大防止のため一斉植栽は取りやめたが、今後の実施については検討する。

**産** 【上野委員】県営の防災ダム管理はどのようになっているのか。

**答** 【農林課長】御所地区の防災ダム4カ所を管理している。ダム内の雑木伐採撤去を行っているほか、県に予算要望しながら土砂撤去も合わせて管理している。



防災ダム群の一つ、レン滝ダム

※イクボス…育児休業取得を促すなど、仕事と育児を両立しやすい環境の整備に努めるリーダー。

**産** 【横手委員】 栗石駅を背にしての丁字路右側道路が危険である。今後ロードヒーティング延長の考えは。

**答** 【地域整備課長】 歩道もない道路で特に冬期は大変危険な場所と捉えている。維持費の問題と融雪機の整備も合わせ検討する。

**産** 【岩持委員】 町営住宅の老朽化に伴う建て替え計画は。

**答** 【地域整備課長】 財政面などの理由で整備できて

## 豊かで誇れる自然を守り育て 子どもたちにつないでいくまち《環境》

**環** 【坂下委員】 墓地公園等維持管理事業の七ツ森墓地公園などの使用状況はどうか。

**答** 【観光商工課長】 七ツ森墓地公園は597区画中587区画、その後新設された新七ツ森墓地公園は394区画中156区画を使用中である。

**環** 【西田委員】 外来植物の駆除の業務委託は継続実施しているが、状況はどうか。



役場近くの道端で咲くオオハンゴンソウ

いないが、社会情勢を見極めながら今後も検討していく。

**産** 【加藤委員】 町内スキー場冬季誘客促進業務委託に関して随意契約になった理由

**答** 【観光商工課長】 町内3スキー場をまとめることができ、誘客事業全体を見通せるものとして栗石町スキー連盟に随意契約として業務を発注した。

**答** 【観光商工課長】 外来生物の駆除はオオハンゴンソウを順次駆除しており、ホームページ等で駆除について周知

しながら、今後も状況をみながら取り組む。

## みんながつながって 安全に住めるまち《安全安心》

**安** 【堂前委員】 大雨で大量の盛土が流出し多数の被災者が出る災害報道があった。大規模盛土造成地は町にあるか。

**答** 【地域整備課長】 大規模盛土造成地は、七ツ森団地がある。調査した結果危険性はないということ

**安** 【徳田委員】 スクールガードにベスト、帽子、腕章等を貸与してはどうか。また、これから寒い時期を迎えるので、防寒着の支給も併せて検討してはどうか。

**答** 【教育次長】 スクールガードは無償で子どもの安全活動をしていただいている。来年度の予算に向けて、どのようなものを支給するか今後検討していく。



スクールガードに見守られ登下校する児童ら

**安** 【古館委員】 防災行政無線が前より聞こえなくなったという声がある。個別受信機が欲しいのになかったという話も聞けるが、どのように把握しているか。

**答** 【防災課長】 個別受信機は、独居等の災害弱者を中心に民生委員が調査して、必要である方に配布している。

## 議会町民懇談会（議会報告会）の延期について

議会活動の状況や町政課題を町民の皆さんに直接報告するとともに、議会活動への意見や町政への提言をいただくことを目的に開催を予定していた「栗石町議会町民懇談会（議会報告会）」ですが、新型コロナウイルス感染症を防止するため延期することとしました。直近での岩手県内の感染状況は落ち着きを見せておりますが、岩手県においても独自の緊急事態宣言を発生していたこともあり、このような状況の中で開催することは不可能と判断しました。感染拡大がさらに落ち着き、安心して開催できる状況になり次第、あらためて開催をお知らせいたします。ご了承ください。

令和3年第4回雫石町議会臨時会 | 議決結果等一覧 会期：7月20日(火)

議案番号	議案名	議員名	金子一男	坂井尚樹	徳田幸男	岡本忠美	古館謙護	幅秀哉	堂前義信	横手寿明	岩持清美	加藤眞純	杉澤敏明	西田征洋	大村昭東	上野三四二	坂下栄一	議決結果	
議案第1号	町道雫石環状線新用ノ沢橋橋梁補修工事の請負契約の締結に関し議決を求めることについて		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第2号	財産の取得に関し議決を求めることについて		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決

○…賛成 ●…反対 欠…欠席 -…退席 ※前田議長は採決には加わりません。

令和3年第5回雫石町議会臨時会 | 議決結果等一覧 会期：8月6日(金)

議案番号	議案名	議員名	金子一男	坂井尚樹	徳田幸男	岡本忠美	古館謙護	幅秀哉	堂前義信	横手寿明	岩持清美	加藤眞純	杉澤敏明	西田征洋	大村昭東	上野三四二	坂下栄一	議決結果	
議案第1号	令和3年度雫石町一般会計補正予算(第2号)		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決

○…賛成 ●…反対 欠…欠席 -…退席 ※前田議長は採決には加わりません。

臨時会結果

第4回臨時会

総務費

**Q** 【古館議員】当初予算では除雪機械購入費5千300万円程であるが、契約額は3千245万円となっているが、2千万円弱の差額の内容は。

**A** 当初予算は取扱業者、製造業者等数社から見積徴収し計上する。入札不成立ということで、随意契約で金額を決定した。差額はメーカーの製造過程でのものと把握している。

第5回臨時会

商工費

**Q** 【西田議員】補正金額約1億3千万円となっているが、関連事業の損失額は把握しているか。

**A** 対前年比等の損失額は捉えていない。昨年の支援金交付事業者へのアンケート調査では昨年度売上額の増減で50%以上の減収は宿泊事業者27施設、商工関係で対象153事業者の内、回答72事業者の中で18事業者であった。

**Q** 【古館議員】エンジンパスポートの実施期間とプレミアム商品券の実施の計画は。

**A** 販売は10月を予定している。使用期限は2022年1月末日までとし、町民向けの先行販売方法も検討している。共通買物券については、今回は考えていない。

議決結果等一覧

令和3年第6回雫石町議会9月定例会 | 議決結果等一覧 会期：9月1日(水)～9月17日(金)

議案番号	議案名	議員名	金子一男	坂井尚樹	徳田幸男	岡本忠美	古館謙護	幅秀哉	堂前義信	横手寿明	岩持清美	加藤眞純	杉澤敏明	西田征洋	大村昭東	上野三四二	坂下栄一	議決結果
議案第6号	令和3年度雫石町一般会計補正予算(第3号)		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	可決
議案第8号	令和3年度雫石町介護保険事業勘定特別会計補正予算(第2号)		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	可決
認定第1号	令和2年度雫石町一般会計歳入歳出決算		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	認定
認定第2号	令和2年度雫石町国民健康保険特別会計歳入歳出決算		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	認定
認定第3号	令和2年度雫石町御明神財産区特別会計歳入歳出決算		○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	●	○	認定
認定第5号	令和2年度雫石町介護保険事業勘定特別会計歳入歳出決算		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認定
認定第6号	令和2年度雫石町介護保険介護サービス事業勘定特別会計歳入歳出決算		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認定
認定第8号	令和2年度雫石町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認定

○…賛成 ●…反対 欠…欠席 -…退席 ※前田議長は採決には加わりません。

★その他の承認、認定、発議については、全議員が賛成いたしました。

# ここが聞きたい 一般質問 町政を問う

## 11議員が質問

一般質問は、議員が広く町政に関し報告や説明を求めたり、疑問をただしたりするものです。定例会ごとに実施されており、質問順は抽選で決定しています。

12 ページ 新自由主義的農政の下での農山村振興は

質問者／おおむらしやうとう大村昭東 議員

12 ページ 観光商工関連事業への新型コロナ対策は

質問者／かねこかずお金子一男 議員

14 ページ 新教育長の教育理念は

質問者／うわのみよじ上野三四二 議員

14 ページ モトクロス大会の栗石開催誘致支援を進めては

質問者／かとうますみ加藤真純 議員

**Q** 新自由主義経済の下で農協の統廃合が進み、農業者の所得の増大、農業生産の拡大、地域の活性化、小規模・家族農業、兼業農家の維持は困難な状況であるが、中山間地の町の農山村振興をどのように取り組むのか。

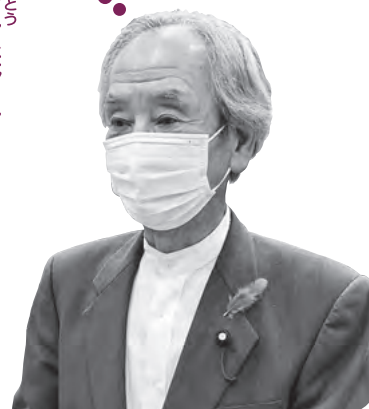
**A** 地域とともに歩んできた農協は、組合員の減少に加え、社会情勢の変化、農産物販売や生産資材調達の低迷等、厳しい状況である。一方で、農協の若手職員の多くは、農家と向き合い、積極的な農家支援に取り組

新自由主義的農政の下での農山村振興は

町長 農協職員と町職員が一体で農家支援に取り組む

質問者／おおむらしやうとう大村昭東 議員

行政と農協の  
営農指導の  
ワンフロア化急げ。



**Q** 「町内スキー場冬季誘客促進事業」の取り組みは。

**A** 3スキー場を有する強みを生かすことで、冬期間における誘客促進策として、事業を継続する。町の経済回復とスキー、スノーボード人口の拡大等にも効果がある。新型コロナウイルス感染症対策を講じた上で昨シーズンに引き続き、2021から2022のシーズンも事業展開の計画である。

**Q** 「虹の似合うまち栗石エンジョイパスポート」事業の取り組みは。

観光商工関連事業への新型コロナ対策は

町長 町でも可能な限り支援する

質問者／かねこかずお金子一男 議員

コロナ禍で頑張っている町民や企業を応援したい。



- 14  
ページ
感染症や大規模災害等の緊急事態が発生した場合は
質問者／<sup>ふるだてけんこ</sup>古館謙護 議員
- 16  
ページ
空き家対策の成果、取り組み状況は
質問者／<sup>はば ひでや</sup>幅 秀哉 議員
- 16  
ページ
秋田新幹線整備計画は
質問者／<sup>いわもちきよみ</sup>岩持清美 議員
- 16  
ページ
各種大会等の活動支援は
質問者／<sup>さかい なおき</sup>坂井尚樹 議員
- 18  
ページ
トップアスリート輩出を目指した取り組み状況は
質問者／<sup>すぎさわとしあき</sup>杉澤敏明 議員
- 18  
ページ
不法侵入者に対応する学校の訓練は
質問者／<sup>とくだ ゆきお</sup>徳田幸男 議員
- 18  
ページ
埋設ダイオキシンの撤去は
質問者／<sup>にしだ まさひろ</sup>西田征洋 議員

んでいることから、町として、後押しするほか、一体となつて農家支援に取り組み、農山村社会の維持、発展を目指す。

### 町教育研究所の取り組みは

**Q** 町教育研究所は児童生徒の育成の観点から、教育に関する専門的、技術的事項の調査研究を通して、その成果を各校に提供するものとしていますが、どう機能しているか。

**A** 調査研究は、県派遣の指導主事を中心に各学校の教員と一緒に、町の教育研究会と連携して、教科を中心とした授業実践研究、不登校児童生徒の事例研究、体力向上等に取り組んでいる。

**Q** 情報通信技術教育について、教育研究所はどう調査研究を行うのか。

**A** 児童生徒の学習の意欲や満足度をしっかりと把握し、効果的な情報通信技術の活用の方を調査研究する。



タブレットを活用した、授業を受ける児童

**A** 昨年度この事業について実施した結果、利用者より大好評であった。今年度も新型コロナウイルス感染症拡大の影響により飲食店や宿泊事業者等の支援が必要であることから、その支援策の一つとして再度この事業を継続する。また、取り扱いと発行部数を増やし、町民向けの販売も計画していることから、全世帯にチラシを配布し、事業拡大を図る計画である。

**Q** 「認証取得事業者支援金」の取り組みは。

**A** 町ではこの認証制度を取得した飲食店等に対し、感染症対策のため必要となる消耗品等の購入に対し1店舗あたり10万円支援する。



今年も完売した、エンジョイパスポート

一問一答は時間をかけ調査している。もっと真摯に充実した答弁をして貰えないか〜ね。

質問者／上野三二一議員



## 新教育長の教育理念は

**教育長** 生涯学習、スポーツに親しめる教育を目指したい

**Q** いじめ、虐待、不登校の防止にも精通している新教育長の教育理念を伺いたい。

**A** 全国中学校文化祭岩手大会で開催されたポスターの原画に昨年度栗石中学校3年の上野紗知さんの作品が選出され、ステージ発表のトリは同中学校の応援発表であったほか、同中学校の野球部が東北大会に出場するなど多くの生徒が大活躍を見せてくれた。これまで愛情いっぱい育ててくれた保護者や、学校では先生方が一生懸命に生徒を指導するなど児童生徒に生きる力を育んで

マンネリ化したイベントから目先を変えモトクロスなどで活性化を。

質問者／加藤眞純議員



## モトクロス大会の栗石開催誘致支援を進めては

**町長** 必要に応じた支援策を検討していく

**Q** 観光協会、商工会、飲食業や体育協会と連携し、モトクロス大会の「全日本MCクロスカントリー選手権大会」の誘致支援を進めては。

**A** 同大会を開催した場合、出場者や観戦者、報道関係者を含め、約千人規模



誘致を期待、栗石へのモトクロス大会

デジタル社会到来、暮らしを便利にするマイナンバーカード持ってますか。

質問者／古舘謙護議員



## 感染症や大規模災害等の緊急事態が発生した場合は

**町長** 迅速かつ確実な対応を行う

**Q** 町の業務継続体制や業務継続計画の策定等の状況はどうか。

**A** 災害時において業務の執行体制や対応手順、継続に必要な資源の確保など、災害対応時の業務を適切に実施できるように必要事項等を定めている。新型コロナウイルス感染症対応は、感染症対策本部、各課の行動マニュアルを策定し感染症への迅速かつ確実な対応を行う。

マイナンバー制度の普及は

た賜物と思っている。誰もが生涯学習活動やスポーツに親しめる教育を目指していきたい。

## 町の農業施策は

**Q** 新規就農者（農業者の家族後継者）に思い切った育成支援をしてはどうか。

**A** 的確な支援を行うため、栗石町新規就農支援チームを設置するなどして



深刻さを増している農業後継者問題

対応している。資金面においては、農業次世代人材投資資金による経営開始型及び準備型の給付金を活用した支援など、就農準備から就農後の経営安定まで総合的なサポートを行っている。今年度より、町単独事業として親元就農に係る支援制度を創設した。

## 栗石診療所の医療業務は

**Q** 昨年導入したCT装置は有効に活用され、予防や治療・医療にどれだけ役だっているか。

**A** CT診断を確定診断されることにより、緊急性の高い疾患について紹介先の医師に詳しい情報提供ができるようになったことなど有効に活用されていると認識している。

での来町者が見込まれ、町内の宿泊や飲食施設、観光施設などへの利用が期待できる。町への経済波及効果や地域の活性化、さらには知名度の向上にも大きく貢献できるものと推測される。同大会が開催されることを期待し、今後、関係機関との調整を図り、必要に応じた支援策を検討していく。

**Q** 将来的に、広大な町有地88ヘクタールにモトクロスコースを誘致しては。

**A** 町有地には、さまざまな地理的条件があり、モトクロスコースとしての適地に相応しいかは不明である。町民の意向や町に対する経済効果など、総合的に町有地としての利活用可能性があれば、調査・研究を進めたい。

**Q** 令和3年3月の一般質問で、デジタルガバメントの推進について質問したが、その後の町の取り組みは。

## 町のデジタルガバメント<sup>※</sup>は

**A** 国が示す情報に多くの不確定な要素が残されていることから、順次確定されていく情報を的確に把握するとともに、推進計画により令和4年度末が目標とされている「マイナンバーカードを用いた行政手続きのオンライン化」の達成に向け、3年度中に方針を決定し、関係課との連携により取り組みを進めていく。

**Q** 町の交付率はどうか、国や県の交付率と比較してどう評価しているか。

**A** 住民基本台帳の人口に対する交付率は26・5%となっている。県全体では交付率は31・4%、全国では36・0%であり、町の交付率はやや低い水準となっている。町の65歳以上が24・1%で、全国の65歳以上の交付率は39・5%で大きな開きがあり、交付率が低い要因の一つと推察する。

**Q** 小学校合併の成果と課題は

**A** 統合の成果及び課題等についての評価はどうか。

**A** 伝統芸能の継承や地域と協力して学校農園で米や野菜の栽培など、統合後各校に引き継がれている。課題としては、スクールバスによる登下校となり歩く機会が減少したこと

に、肥満傾向の児童の割合が増加してきた。スクールバスを学校の少し手前で停車させ、児童が歩く機会を意図的に設けるなど対策を取っている。



肥満対策で少し手前から歩く児童

※デジタルガバメント…デジタル技術を活用しながら行政サービスを見直し、国が抱える社会問題の解決や経済成長を実現するための改革

住む家が無いと  
移住・定住出来ないね。  
まず、しずくいしを選んで  
もらう好条件を周知しなきゃ。

質問者／**幅 秀哉** 議員



## 空き家対策の成果、 取り組み状況は

**町長** 移住、定住者数は、  
17世帯49人である

**Q** 空き家を利用した定住の推進として、  
空家調査を行い、空き家バンク制度を  
開設し、栗石町空家等対策計画を策定したが、  
成果や取り組み状況はどうか。

**A** 空き家バンク制度がスタートした平成  
24年度からの累計で、物件登録が44件、  
利用希望者登録72人となり、制度内での成約  
は売買9件、賃貸10件となっている。また、  
現時点の移住、定住者数は、17世帯49人である。  
制度の周知は、ホームページ、窓口でのチラ  
シの配布、空き家相談事業によるPRを実施

道路の危険箇所とは、  
施行基準との合致で  
はなく利用者の感じ  
のことで?

質問者／**岩持清美** 議員



## 秋田新幹線整備計 画は

**町長** 財政支援は国・JR  
東日本に要望する

**Q** 秋田新幹線防災  
トンネル対策整  
備計画について。

**A** 整備計画の概要  
として赤淵駅か  
ら田沢湖駅間15kmをト  
ンネル化にすることや  
工期を着工から11年、  
事業費約700億円の  
見込みであり、関係団  
体の費用負担の枠組み



防災トンネル検討の秋田新幹線

早期に経済回復が  
できるよう、さらなる  
支援の拡充を。

質問者／**坂井尚樹** 議員



## 各種大会等の活動 支援は

**教育長** 今後も大会出場に  
要する経費を補助する

**Q** これまで東北大会、全国大会に出場し  
た選手への交通費を含めた活動支援に  
はどのようなものがあつたか。

**A** 栗石中学校の部活動に対し、栗石中学  
校部活動大会等参加補助金交付要綱を  
定め、県大会以上の大会での経費について補  
助金を交付している。町内小学校の児童が所  
属する町のスポーツ少年団に対しても、東北  
全国スポーツ大会に出場するための必要経費  
の一部に対して補助金を交付している。



している。

**Q** 空き家関連の担当部署が地域整備課など6課にまたがっているが、窓口一本化などを検討してはどうか。

**A** 関係課において見直しを進めており、来年度から一層効果的な体制の構築を目指す。

### 栗石診療所の運営体制は

**Q** 栗石診療所の医師一人体制は、通常診療、包括ケアの中心的活動、入院診療、看取り対応など激務、過剰勤務と思われるが、医師確保に向けた考え方は。

**A** 通常診療は、常勤医師1名、応援医師2名で行っている。若手医大の応援を得ながら常勤医師の負担軽減を図り、医師確保に向け、関係機関と連携して取り組む。



町民の命を守る栗石診療所

も未定であることから、財政支援についても国やJR東日本に要望していく。

### 新型コロナウイルス感染症の影響は

**Q** 新型コロナウイルスに対する県の緊急事態宣言に伴う町内への影響は。

**A** 全国的な感染拡大により、いずれの施設においても集客に苦慮している。また、お盆期間中も大きく入り込みを落としている状況から町の観光業及び飲食業への影響は大きかったと推察している。

**Q** 県の宣言を受けて町として行おうとしている事は。

**A** 町民の皆様へは、不要不急の外出の自粛をお願いするとともに、一部集会機能を有する町営施設における利用規制をしている。また、家庭や職場を感染経路とする感染が拡大していることから、今まで以上の感染防止対策の徹底をお願いする。

### タブレット端末の導入は

**Q** 議員、農業委員等へのタブレット端末の導入は。

**A** タブレット端末の導入などによる事務のデジタル化について、今後活用していくべきと考えているので導入から運用方法について検討している。

### 通学路の安全確保は

**Q** 通学路の緊急点検

が急がれている。危険箇所を改善して行く計画はあるか。

**A** 学校や地域、関係

機関と連携し通学路の危険箇所の把握に努め、管轄する管理者への要望活動を継続して行く。



通学路の安全確認は急務

### コロナ禍での学校行事は

**Q** 長引くコロナ禍により学校行事の中止または規模の縮小に至っている。行事の代替案も早急に検討していくべきではないか。

**A** 各学校の判断において年間行事予定を変更し、行事内容の変更や延期などにより代替案を検討している。子どもたちの心身の成長と安定に寄与する校外活動や行事開催については可能な限り工夫して実施されるよう各学校と協議していく。

アーチェリー競技のトップアスリートの育成が進んでいるようです。「アーチェリーの町栗石」となるよう期待しています。



質問者／杉澤敏明 議員

**トップアスリート輩出を目指した取り組み状況は**  
**【教育長】関係者と連携して選手育成の取り組みを進める**

**Q** アーチェリー及びトランポリン競技にアスリート輩出を目指した、関係者と連携した選手育成の取り組み状況は。

**A** 鶯宿温泉スポーツエリア

整備計画の将来の構想と展望にはスポーツ普及と選手育成強



アーチェリーの町となれるか栗石町

通学路を含めた子どもの安全対策は急務です。



質問者／徳田幸男 議員

**不法侵入者に対応する学校の訓練は**  
**【教育長】避難訓練と併せて実施**

**Q** 学校への不法侵入者に対応する訓練の実施状況は。

**A** 不審者に対処するマニュアルを作成し、教職員の役割分担を確認し、連絡体制を確立している。また、不審者が侵入した場合の指示、避難経路、避難場所を設定し、避難訓練と併せて実施している。

**通学路の安全対策は**

**Q** 通学路の安全対策と強化方法は。

「襟を正して頑張ります!!」



質問者／西田征洋 議員

**埋設ダイオキシンの撤去は**  
**【町長】継続して恒久対策を要望する**

**Q** 使用禁止の劇薬ダイオキシン（2，4，5－トリクロロフェノキシ酢酸）が町の国有林に埋まっているが、埋設場所ごとの埋設量は。

**A** 町内の国有林13カ所にダイオキシン3940キログラムがコンクリート固化の状態

で埋設されており、埋設量は埋設場所ごとにおおむね300キログラムずつと東北森林管理局から回答を得ている。

**Q** 埋設ダイオキシンの危険除去のための撤去要求は。

化によるオリンピックの誕生を掲げている。施設整備後には、トップアスリートを招いての講習会や合同練習会等、関係者と連携してトップアスリート輩出に向けた選手育成の取り組みを進める。

**Q** 旧南畑小学校でのトランポリン利用状況は。

**A** 令和2年度は、延べ約4千人、3年度は、7月末時点で延べ約2千人の利用。

## 町行政の執行状況は

**Q** 施政方針に示された施策の執行状況は。

**A** 新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、中止や縮小を余儀なくされた事業もあるが、概ね計画どおりに執行されており、今後、下半期においても新型コロナウイルス感染症の感染状況を見極めながら、鋭意事業に取り組んでいく。

**Q** 公共事業の現時点での執行率は。

**A** 設計業務委託料と、工事請負費の8月末時点における現計予算額の合計9億9077万6千円のうち、6億2263万5千円、62.8%が支出負担済みとなっており、例年と比較して同程度の執行状況となっている。

**A** 毎年各地区の

防犯交通安全協会を通じ、各学校や行政区などから交通安全施設等の改善要請を受け、通学路の危険箇所には県及び町の道路管理者や警察署に整備や改善の要望活動が続いている。スクー



通学路の安全に寄与するグリーンベルト

## 避難情報変更の周知は

**Q** 変更された避難情報、周知の方策は。

**A** 町における避難情報変更の周知は、これまでにもホームページやSNS、世帯配布での周知、自主防災組織より依頼された防災講話等で周知を図る。今年度中に町の地域防災計画に改正された災害対策基本法の内容を反映した修正を行う。

**A** 町としても埋設ダイオキシンの危険性は十分認識しており、速やかな完全撤去に向け、県及び埋設市町村で構成の2、4、5-1系除草剤埋設地問題連絡協議会と連携し、継続して恒久対策を要望する。

## 入学時の利用希望調査は

**Q** 新しく入学する児童生徒のスクールバス利用希望の声を早い時期に聞いて年度当初から対応してはどうか。

**A** 毎年度利用する児童生徒の住所やスクールバスの座席数、運行距離、時間等を考慮し、3月初めに運行計画を作成し、利用希望家庭に周知している。各家庭の生活状況の変化による要望については、他の児童生徒や家庭への影響もあり、要望に配慮されない場合もあり、ご理解願いたい。



栗石中学校のスクールバス通学の様子

## 総務産業常任委員会

[大村昭東委員長]

調査  
1

### 生態系にも忍び寄る温暖化 農作物(稲作圃場)の鳥獣被害状況 調査及び視察(上西根)(外柵沢)

町内一円にイノシシ被害が拡大し、今年9月末までに46件の捕獲頭数となっています。対策としては、電気柵で農地を守ることと、捕獲することの2つの視点で取り組んでいます。稲が踏み荒らされた上西根地区と町内最大の電気柵 37ha に設置している外柵沢地区を視察しました。



年々、拡大するイノシシ被害

調査  
2

### 延びる集落排水処理の恩恵 農業集落排水御明神地区 処理場視察(黒沢)

排水処理場の水洗化人口は587人(R3.3月現在)となっています。また、視察当日は汚泥の引き抜き作業を行い、バキュームカーで搬送中でした。

調査  
3

### 雫石が担う防災ダムの管制塔 御所防災ダム管理事務所 見学(片子沢)

河岸の決壊や河川構造物の破壊等の被害を防ぐため鶯宿川、外柵沢川、南畑川、矢櫃川の4河川の上流部にそれぞれダムを築造し、御所地区の洪水による災害防止と、農地の保全を図っていると説明を受けました。御所地区の4つの防災ダムが片子沢の管理事務所で管理されていました。

調査  
4

### 下水道整備も着々進む 下水道事業・ 鶯宿幹線工事現場視察(柵沢)

令和2年度認可変更を受け県道鶯宿温泉線を県が施工し、そこに町がマンホールポンプを設置し下水道に接続する計画です。

調査  
5

### 有事に備えて防災ダム群を管理 レン滝ダム視察(大村)

南畑川の上流部にレン滝ダムが着工され、昭和43年に事業費約7億2千万円で完成しています。現在防災ダムとして豪雨の際一旦ダムに貯水され、後日放水されます。現在ダム湖底に立木と砂利が堆積しており除去する計画です。

同日は安庭橋付近の歩道状況(安庭・天戸)も調査しました。

## 議会運営委員会

[杉澤敏明委員長]

協議  
1

### 雫石町議会業務継続計画 (議会BCP)策定

町議会は8月12日、大規模災害等の緊急事態が発生した際に、町民の安全確保や被害の拡大防止、災害復旧に向け、二元代表制の一翼を担う議会の基本的な機能を果たすため、「雫石町議会業務継続計画(BCP)」を策定しました。

9月5日(日)には計画に基づき、町の総合防災訓練と合わせ、議員と議会事務局職員を対象とした防災訓練を実施しました。災害時における体制整備や行動基準、非常時優先業務を迅速、的確に行えるよう、議会BCP発動確認訓練、安否確認訓練、議員参集訓練、支援隊本部設置訓練等を実施しました。

今後も訓練を継続して行い、その内容等を検証・点検しながら実効性を高めていきます。



避難所で設営される屋内テントを確認する議員ら

## 広報広聴常任委員会

[古館謙護委員長]

議会だより

### 紙面リニューアルして2号目の第118号を発行

議会改革の一環として、第117号から紙面を刷新して発行しています。町民と情報を共有し、対話する広報を強化していきます。

○令和3年7月6日

議会だより第118号初校編集会議を開催しました。

○令和3年7月9日

議会だより第118号再校編集会議を開催しました。

○令和3年7月14日

議会だより第118号念校編集会議を開催しました。

○令和3年7月20日

議会だより118号発行。

○令和3年9月1日

議会だより第119号の編集日程や割り付け及びレイアウトについて協議しました。

全国版に紹介

### 市町村議会広報クリニック

第117号から紙面をリニューアルして発行していますが、議員研修誌「地方議会人」2021年9月号の市町村議会広報クリニックに本紙が紹介され、「紙面の完成度が高まる」「コンテンツがさらに充実した」という評価をいただきました。意欲的な取り組みによる成果であると捉えています。今後も新たなビジョンを掲げ、分かり易い紙面づくりに取り組んでいきます。



しずくしい議会だよりが紹介されたクリニックの誌面

## 教育民生常任委員会

[堂前義信委員長]

調査  
1

### タブレット端末を活用 GIGAスクール構想の 現状を視察

7月15日、御所小学校で校長先生からタブレット端末の活用状況の説明を受けました。その後、教室で実際にタブレット端末を活用している授業を視察しました。4年生は、算数の授業、6年生は、社会の授業でタブレット端末を使用。画面に問題が出題され、答えを入力するとすぐに正解・不正解を判定。正解するたびに次から次へと問題が出題され、児童は楽しそうに問題を解いていました。



児童に好評のタブレット端末を活用した授業の様子

調査  
2

### 不審者侵入対策と避難訓練 小学校の安全対策

9月8日、所管課である学校教育課より小学校の安全対策を聞き取り調査しました。各学校では、不審者侵入対策として児童昇降口を日中施錠しています。また、各学校において学校敷地内の安全対策を講じています。避難訓練も、各学校において火災や地震を想定し、年3回～4回行われていると説明を受けました。

調査  
3

### 福祉サービスの向上 町社会福祉協議会の 取り組み

9月8日、所管課である総合福祉課より社会福祉協議会の現在取り組んでいる事業の概要を聞き取り調査しました。地域住民が役割を持ち、公的な福祉サービスと協働して助け合いながら暮らすことを目指し、各関係機関と連携を図り事業に取り組んでいることを確認しました。



きむら まさみ  
木村 正美さん (70歳・下町2行政区)

## 生森山展望台からのながめ

四季を通しての岩手山、駒ヶ岳、男助山、女助山、南昌山等の360度のパノラマ。

春は田んぼに水が張られ水面に映る景色。秋は稲穂で金色に染められた町。これは40年くらい前に、生森山展望台からの雫石町内の眺めでした。

今の展望台周辺を改善すると「しずくいしの宝」になるだろう。「改善されたら宝だ」



たかはし ひとし  
高橋 仁志さん (76歳・矢櫃行政区)

## 秘境、東ノ滝

雫石十四景・矢櫃の溪流(矢櫃川)は、西東根山頂付近から流れ出し、御所湖への流入地点まで、10キロメートル以上に及びますが、その流域には、数多くの見所があります。私は、中でも矢櫃川の支流・東ノ又沢(溪流)にある「東ノ滝」は、正に「しずくいしの宝物」であると思っています。



皆さんの声を聞きました

No.14

議員が町内を歩いて  
皆さんの声を聴くVOICEシリーズ。

今回は「しずくいしの宝物は？」です。



ささき まさひろ  
佐々木 昌広さん (60歳・駒木野行政区)

## 身体を癒す自然

私は腰にコルセットを付けて、約19年前に東京からUターンしました。雫石の宝である旨い空気、水、多くの温泉等で、数年後、コルセットがいなくなりました。

近年、天気痛<sup>\*</sup>で膝が上がりにません。診察する医師が東北地方にいないのが残念です。

<sup>\*</sup>おかえりモネでは、気象病といっています。



すずき まさる  
鈴木 勝さん (51歳・晴山行政区)

## 宝物は子どもたち

私が思う雫石町の「宝物」は、やはり子どもたちですね。子どもたちと接していると素直で元気の良さが伝わってきます。

この子どもたちが将来、この町を良くしてくれるように私たち大人がしっかり導いていかないといけないと思います。そのために大人が協力し合って頑張りましょう。



在京雫石町友会会員 **かまだ きぬこ**  
**鎌田 絹子**さん (旧姓高橋)

## 雫石は原点!

現在私は「原発事故・地震・津波」の被災地福島県浪江町を離れて、同県白河市中古住宅を購入し夫と二人暮らしです。夫は近隣の休耕地を借り農作業に励んでおります。

私はコロナの故もあり昨年11月から体調を崩しひきこもり状態です(コロナ感染はなかった)。でもコロナ禍前には趣味の書道で「毎日書道展」に入選し、雫石町総合芸術祭にも展示させて頂きました。現在もポチポチ続けております。

福島県白河市は関東(栃木県)と東北の境に位置し、白河の関があり、今度新一万円札の肖像、渋沢栄一とゆかりある南湖公園や小峰城があります。このコロナ禍が収束したら是非白河方面にいらしてください。因みに夫は小峰城でボランティア活動をしています。今は観光客もないので余り活動していませんが・・・。

私は雫石町和野に生を受け18年間すごしたふるさとです。浪江町に50年近くいて、今、更に故郷から遠くなり、先祖の墓参もできず不義理を致しておりますが、遠くにあっても雫石は私の原点です。



夫と入選作品の前で

御明神小学校・中学校ー盛岡商業高校ー大阪信用金庫ー昭和43年福島県浪江町でスーパーカマダ開業(平成23年東日本大震災で被災廃業)。福島県白河市在住。子ども2人孫3人。趣味書道。



在京雫石町友会幹事 **うわの よしお**  
**上野 善男**さん

## ふるさとへの想い

故郷雫石を離れて60年、長男ながら雫石へ戻り親の面倒を見られなかったことが今でも申し訳なく脳裏に残る。この先、墓の面倒を見る者がいないので、菩提寺にお願いして永代供養墓に移して頂いた。年齢80半ばとなり行動範囲も狭まってきた。加えて先般、転倒して腰椎に障害を負いさらに行動制限のかかる身となった。故郷雫石のために何かお役に立つことをしたいと思っても気持ちばかりが空回りする。

昨今、大型機械が活躍できるよう田畑整備が進んだが、私達の脳裏には、やんちゃな頃のはだして歩いた細いあぜ道や営林署の貯木場のきくらげ取り、雫石駅での蒸気機関車の転車台回し、貨客混合編成の橋場線などが今でもよみがえる。

出来れば、〇〇遺産として残しておいてほしい物

が沢山あった。

毎月頂く「広報しずくいし」を拝見して、雫石の若者たちが、私達の時代には想像もつかない、生き生きと活動していることを嬉しく思っている。

人口減少の続く昨今、身の丈に合わせた安定した持続体制で理想郷「虹の似合うまち雫石町」が、良きふるさとであり続けることを祈念しております。



江の島から見る藤沢市内

昭和12年舞鶴(父の任地)生まれ 横須賀・豊島小ー盛岡仁王小ー雫石小・中ー盛岡一高 昭和30年日本勧業銀行(現みずほ銀行)入行、第一勧業信用組合理事、(有)東京恒友代表取締役を経て定年退職、銀行業務殆どをシステム担当。神奈川県藤沢市在住。趣味は写真とドライブ。

# 雫石町へようこそ

＼ご縁があり、雫石町民になった！／

ますざわ みさと  
**舩澤 美仁**さん (26歳) | 栴沢行政区 | ※盛岡市出身

Q お二人の馴れ初めは？

A 共通の知人が経営していたカフェで出会いました。

Q 雫石町に暮らしてみて、いかがですか？

A 自然の距離が近く何気ない日常に癒されます。晴れた日の星空が綺麗で気に入っています！

Q 町に望むことは？

A 将来にわたって活力のある町であってほしいと共に、雫石の魅力をもっと県内外に伝えてほしいです。



娘と夫と自宅にて  
 左が本人。右が夫の直人さん (28歳)  
 中央：希春さん (9か月)

## なかよしシリーズ⑭

今月の  
 表紙

写真左から  
 あき 天喜さん (5歳) ・ たいき 太喜さん (7歳) ・  
 はるの 葉流乃さん (5ヶ月) ・ こゆき 小雪さん (9歳) ・  
 ふゆ 楓夕さん (11歳)



いぐちこうた 井口幸太さん、あゆみ 安由美さん (東町行政区) のお子さんのなかよし5きょうだいです。

将来の夢は何ですか？

- 長女 ふゆ 楓夕さん：和菓子屋さん
- 二女 こゆき 小雪さん：お洋服屋さん
- 長男 たいき 太喜さん：漁師
- 二男 あき 天喜さん：ゼンカイジャーのキイト (戦隊ヒーロー)
- 三女 はるの 葉流乃さん：明るく、可愛い子 (親の希望)

## 情報公開

### ●議長交際費執行状況

【議長交際費とは】

議長等が議会を代表し、外部との交渉、情報収集、町政協力者への謝意を表すために係る経費で、会費や香典などです。

【議長交際費内訳 (7月～9月)】

月	葬祭費		お祝い、会費	
	件数	金額	件数	金額
7月	0件	0円	0件	0円
8月	0件	0円	0件	0円
9月	0件	0円	0件	0円
合計	0件	0円	0件	0円

※議会の動きはHPに掲載しています。

### ■編集デスク

雫石町議会は9月30日の臨時会で前議長の辞職に伴う議長選挙の結果、新議長に加藤眞純氏を選出しました。会食参加をめぐる町民の皆さまの信頼を失ったことに深く反省しております。この深刻な危機を厳粛に受け止めて皆さまの信頼を得るために「議会だより」の編集や広聴広報活動等をはじめ、地域の発展のため一層努力いたします。これまで以上に皆さまの声をお聞かせください。

(広報広聴常任委員長 古舘謙護)

発行責任者(議長)／加藤眞純  
 編集委員長／古舘謙護  
 副委員長／坂井尚樹

編集委員／横手寿明・幅 秀哉  
 岡本忠美・徳田幸男  
 金子一男